

DOCTORASE

Japan
Medical
Association
日本医師会



医師会のことをもっとよく知ってもらうために [ドクターゼ別冊]

別冊

あなたと 医師会



日本医師会
研修医・若手医師のための
入会案内冊子

INVITATION

医師としての第一歩を踏み出したあなた。

あなたはこれから、研修医として、

日々、診療に明け暮れることになるでしょう。

しかし医師に求められるのは、

目の前の患者さんを助けることだけではありません。

例えば、病気を予防し、多くの人が健康に暮らせるようにすること。

病気になるったり、けがをしたら、いつでもどこでも、

適切な医療を受けられるようにすること。

医療提供体制を整えるよう、国や地方自治体に働きかけること。

一人ひとりの医師が、知識や技術を存分に高め、

安心して診療に従事できるような仕組みをつくること。

これらのことを、中心になって行っているのが、

医師を代表する唯一の団体である、医師会です。

医師会は、専門職としての医師を様々な角度から支援するとともに、

国民全体の健康を守るために、幅広く活動しています。

もちろんその対象には、医師としてのあなた、

そして国民としてのあなたも含まれます。

あなたも、医療を担う専門職のひとりとして、

医師会の一員となり、一緒に日本の医療を支えていきませんか。

INDEX

1 INVITATION

2 INDEX

3 マンガで読む あなたと医師会

scene 1 医師会って…？

scene 2 地域における医師会活動

scene 3 地域の医療機関や多職種の連携を支える

scene 4 非常時にも医療提供体制を守る

scene 5 地域の医師の思いを実現につなげる

scene 6 一人ひとりの医師を守るためのサポート体制

scene 7 若手医師の活躍の場も多数

scene 8 日本の医療の未来を一緒に考えよう

19 会員を支える4つの安心

21 TOPIC 医事紛争から医師を守る

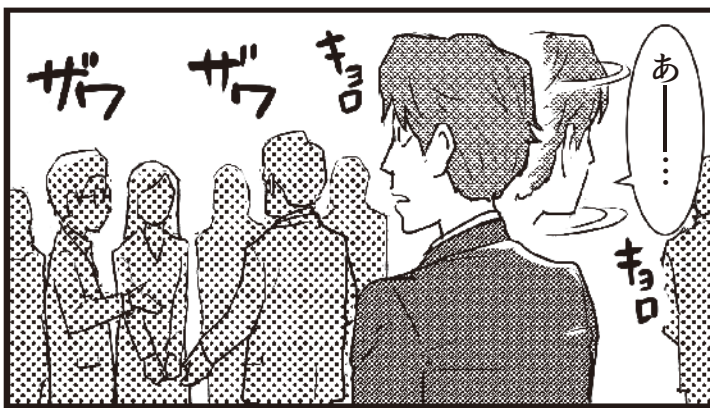
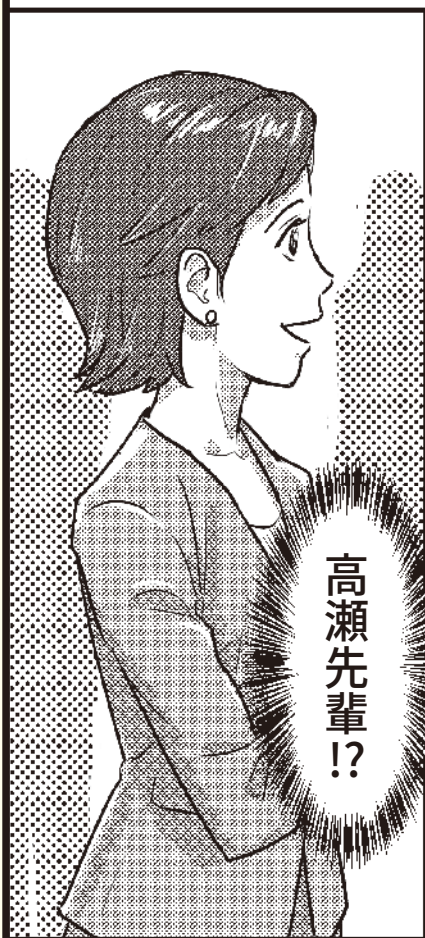
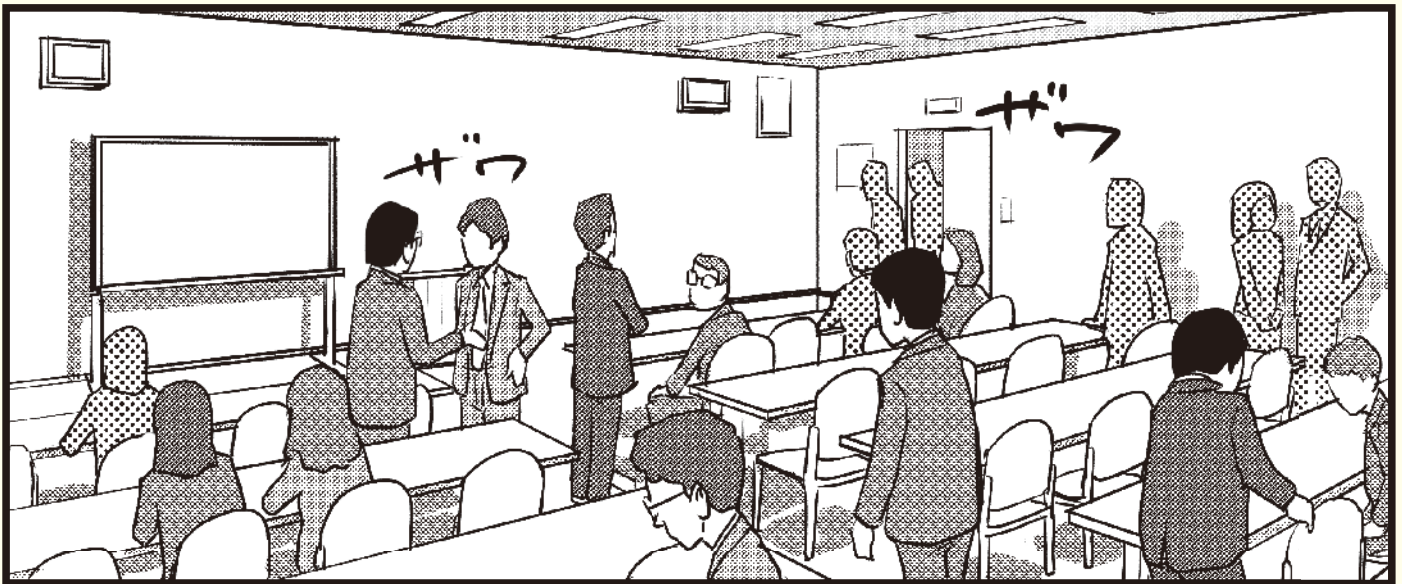
23 TOPIC 育児・介護と仕事の両立を支援する

25 TOPIC 様々な環境で働く医師の学びの機会を作る

27 データと活動内容で見る医師会

29 入会のご案内 医師会に入会するには？

30 都道府県医師会連絡先一覧



〇〇県医師会
研修医新人説明会会場

ここだここだ!

マンガで読む
あなたと
医師会

scene 1
医師会って...?

医師会は、医師を代表する日本で唯一の職能団体です。

医師会員の半分は勤務医

研修医の皆さんにとって、医師会は今まで身近な存在ではなかったかもしれませんが。マンガの水谷君のように、「医師会って何をしているのかよくわからない」と思っている人もいるのではないのでしょうか。

しかし医師会は医師であれば誰でも入れる団体であり、会員の約半分が勤務医で構成されています(↓P.27・28)。

様々な立場や年齢の医師が所属し、互いに支え合いながら日本の医療を良くしていこうとする組織——それが医師会です。学術研究や医療安全などの推進にも関わっている、医師を代表する唯一の職能団体なのです。



高瀬麻衣
小児科医
水谷の部活の先輩

私実は今
医師会の若手医師委員会って
いうのに所属しててね



あれでも高瀬先輩は
なんでここに
いるんですか？
今日は研修医向けの
説明会じゃ…



高瀬先輩
お久しぶりです
水谷君じゃん
久しぶり！

そっか
水谷君ももう
研修医かあ



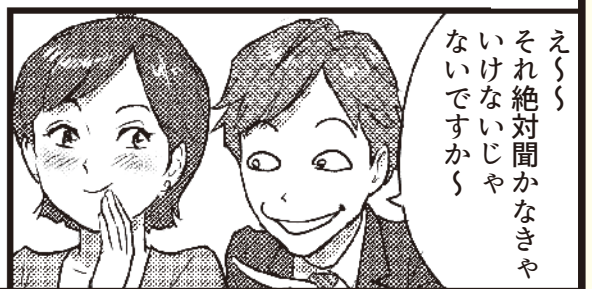
実は僕
医師会のこと
全然わからないんです
先輩は何か
活動するきっかけが
あったんですか？

それにしても先輩
医師会の活動とか
してたんですね

そうですね



「説明会の演者
よろしく！」って
無茶振りされて…



え〜
それ絶対聞かなきゃ
いけないじゃ
ないですか？

医師会の3層構造

医師会は「日本医師会」「都道府県医師会」「都市区等医師会」の3層構造をとっています。それぞれ独立した団体ですが、緊密な連携・協調態勢のもと、国の医療制度の根幹から地域での医療提供体制の整備に至るまで、より良い医療環境を整えています。

都市区等医師会は、地域医療の最前線で活動する医師会です。予防医療や初期救急体制の維持、地域が必要とされる医療機関の運営などを担っています。

都道府県医師会は、各都道府県の医療政策に基づき活動を行っています。救急・災害医療に関する活動や、医学部を持つ大学への支援も行っています。

日本医師会は、医師を代表する唯一の職能団体として、国や政府に対して医療政策に関する様々な提言等を行っています。

研修医向けの説明会等は、都道府県医師会単位で行われています。また、マンガに登場した「若手医師委員会」のように、若手医師の声を医師会活動に活かしている都道府県医師会も多くあります。

私も研修医の頃とかは
医師会って何やってるのか
全然わかってなかったかも…

でもね
こんなふうにならなくて
活動に参加してみたことで
実は私たちの仕事にかなり
深い関わりがあるんだなって
気付いたんだよ

そうなんですか？

ほら私小児科に
進んだでしょ

乳幼児健診で
疾患が疑われて
私の病院に精査しに
来る子も多いんだけど

その乳幼児健診って
地域の市区町村の
医師会が中心になって
実施してるんだよ

えっ
そうなんだ
知らなかった

あらゆる世代の健康を守る

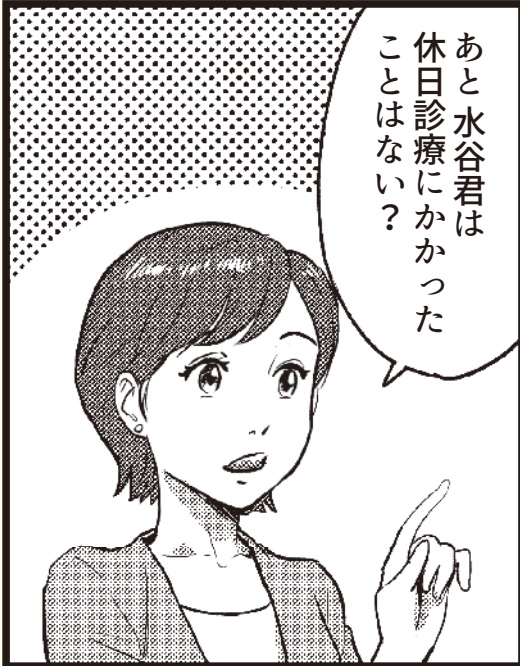
皆さんも、子どもの頃に小児科で予防接種を受けたり、学校で健康診断を受けたりした記憶があると思います。こうした予防接種や各種健康診断などの保健活動を推進しているのは、実は地域の医師会なのです。

また、労働者の健康を守るのは産業医の役割ですが、その産業医を養成・認定する講習の実施も、医師会の重要な役割です。さらに、住民検診や特定健診・特定保健指導の実施や、実施者の研修会も開催しています。歳を取っても必要な医療やケアを受けながら、住み慣れた地域で暮らすための在宅医療や訪問看護等の活動も行っています。

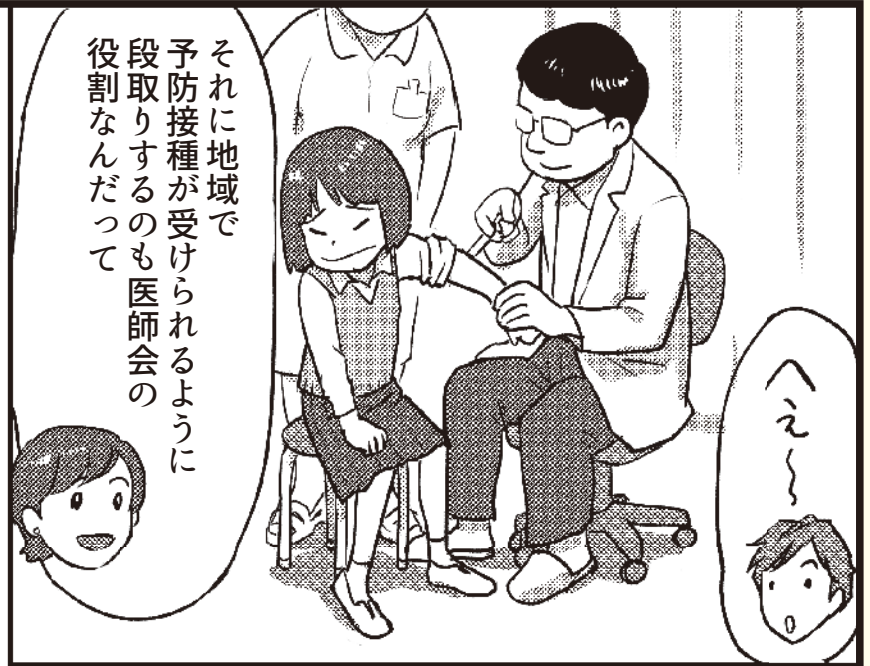
scene 2

地域における 医師会活動

国民の健康で明るい生活を支えることが、医師会の使命の一つです。



あと水谷君は
休日診療にかかった
ことはない？



それに地域で
予防接種が受けられるように
段取りするのも医師会の
役割なんだって

へえ



でも…なんでわざわざ
医師会が診療所を？

病院で当直医が
対応するんじゃない？



あ…そういえば
以前実家に帰省していた時に
急に具合が悪くなつて—

そこでかかったのが
医師会の休日夜間診療所
でした！
結構お世話になって
るんだなあ

地域の実情に合わせた
医療サービスを提供する

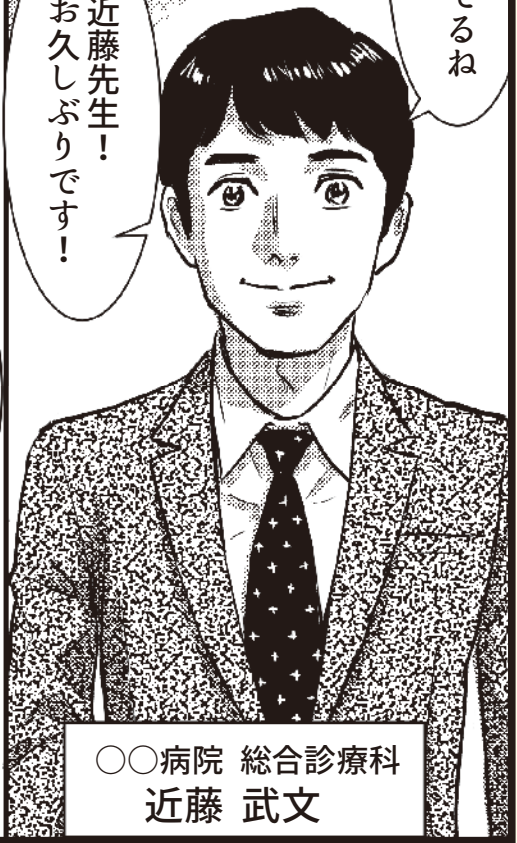
休日・夜間診療などの初期救急を運営することも医師会の役割です。地域の医師会診療所に医師会員の先生が交代で勤務するなどして、初期救急の患者さんの対応にあたることで、基幹病院の二次・三次救急ではより重篤な患者さんの対応に専念できるようにしつつ、地域の人々がいつでもきちんとして医療を受けられる体制を築いています。

国民の健康を守るために、国や自治体は様々な施策を講じていますが、それらの施策を実際にどのように運営していくかはそれぞれの地域や現場に任せられています。国や自治体と協力しながら、医師たちが組織的かつ主体的に、地域の実情に合わせた医療・保健サービスを提供する—医師会は、そうした医師たちの活動を可能にするための職能団体です。安全・安心な医療提供体制を築き、国民の生涯にわたる健康で明るい生活を支えることは、医師会が担う重要な役割です。

水谷君もそのうち
当直に当たるようになる
だろうけど
当直医が一人で
その地域の救急患者さんを
全部診るっていうのは
現実的じゃないでしょ？

だから地域の先生方が
交代で救急外来に入って
くださったり
軽症の患者さんの対応は
医師会の診療所にお任せ
したりすることで
地域の救急がパンクしない
ようにしてるんだよ

話が弾んでるね



近藤先生！
お久しぶりです！

〇〇病院 総合診療科
近藤 武文



こんにちは

こんにちは
〇〇病院の
総合診療科の
近藤です

こちらは近藤先生
私と同じ若手医師委員会の
メンバーで
今日も一緒に演者をするの



近藤先生は
なんで医師会の
活動をされてい
るのですか？

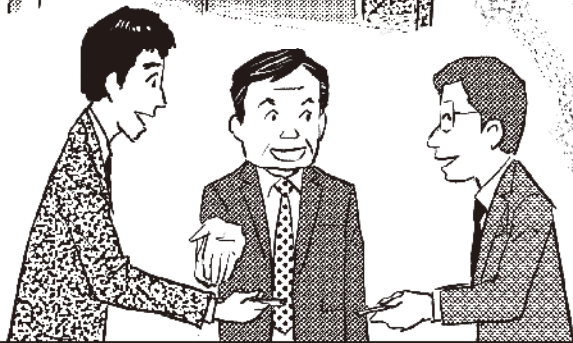
scene 3
**地域の医療機関や
多職種連携を支える**
医師会のネットワークで、地域医療連携を
支えます。

勤務医が医師会に入る意義

さて、よく話題になるのが、勤務医が医師会に入る理由についてです。ここまでの話を踏まえて考えても、勤務医の仕事と医師会活動が結びつかないと感じる人も少なくないでしょう。そこで、マンガに出てくる近藤先生を例に、勤務医が医師会に入る意義を考えてみましょう。

近藤先生は、地域の中核病院に総合診療医として勤務しています。他県の医学部出身のため、当初は地域の多職種とのつながりはほとんどなかったようです。しかし、医師会に入会し、医師会の先生たちや地域の人たちと顔の見える関係を築けるようになったと言います。

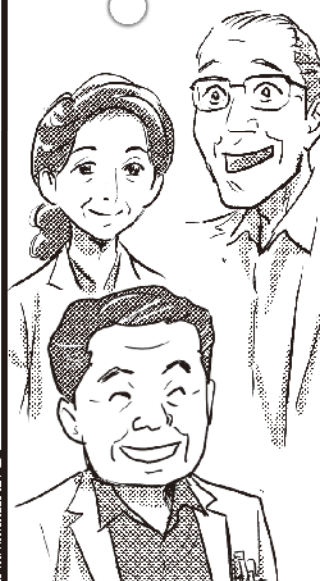
総合診療医として
地域で働くためには
開業医の先生や訪問看護師
役所の人たちケアマネジャーなど
この地域で働いている
様々な職種の人たちとつながり
できるだけ顔の見える関係になる
ことが大事なんだ



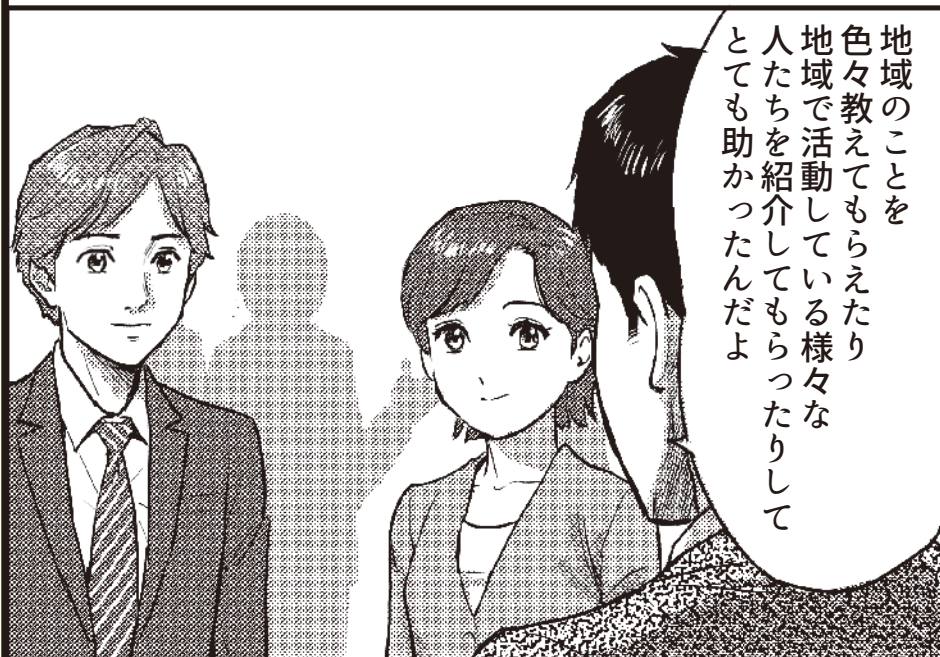
僕は
他県の大学を出て
地元に戻って来た
人間だから
地域の他職種の
人たちのつながりが
ほとんどなかったんだよね



そこで医師会に入ったら
他の先生方から「おっ若い先生が来たな」と
かわいがってもらって



地域のことを
色々教えてもらえたり
地域で活動している様々な
人たちを紹介してもらったりして
とても助かったんだよ



地域の多職種をつなぐ

昨今の医療は大規模病院だけで完結するものではありません。地域の診療所の医師はもちろん、訪問看護師・自治体職員・ケアマネジャーといった多職種との連携が欠かせません。

医師会は地域のなかで、医師同士・医療機関同士の連携を支えるネットワークの役割を果たしています。まず基幹病院の勤務医と、地域のかかりつけ医とが、普段から互いに顔の見える関係を築き、情報交換を行うことによつて、よりスムーズに患者さんを診ることが可能となります。多くの患者さんの紹介を受け入れる基幹病院の勤務医にとつても、このネットワークは大きな意味を持ちます。

また、医師会は、地域の多職種や、介護保険施設といった関係機関との連携をリードする役割も担っています。若手の勤務医が一人でこつした地域ネットワークを一から形成するのは難しくても、医師会というネットワークを利用することで、地域に根差したきめ細やかな医療が行えるようになるでしょう。

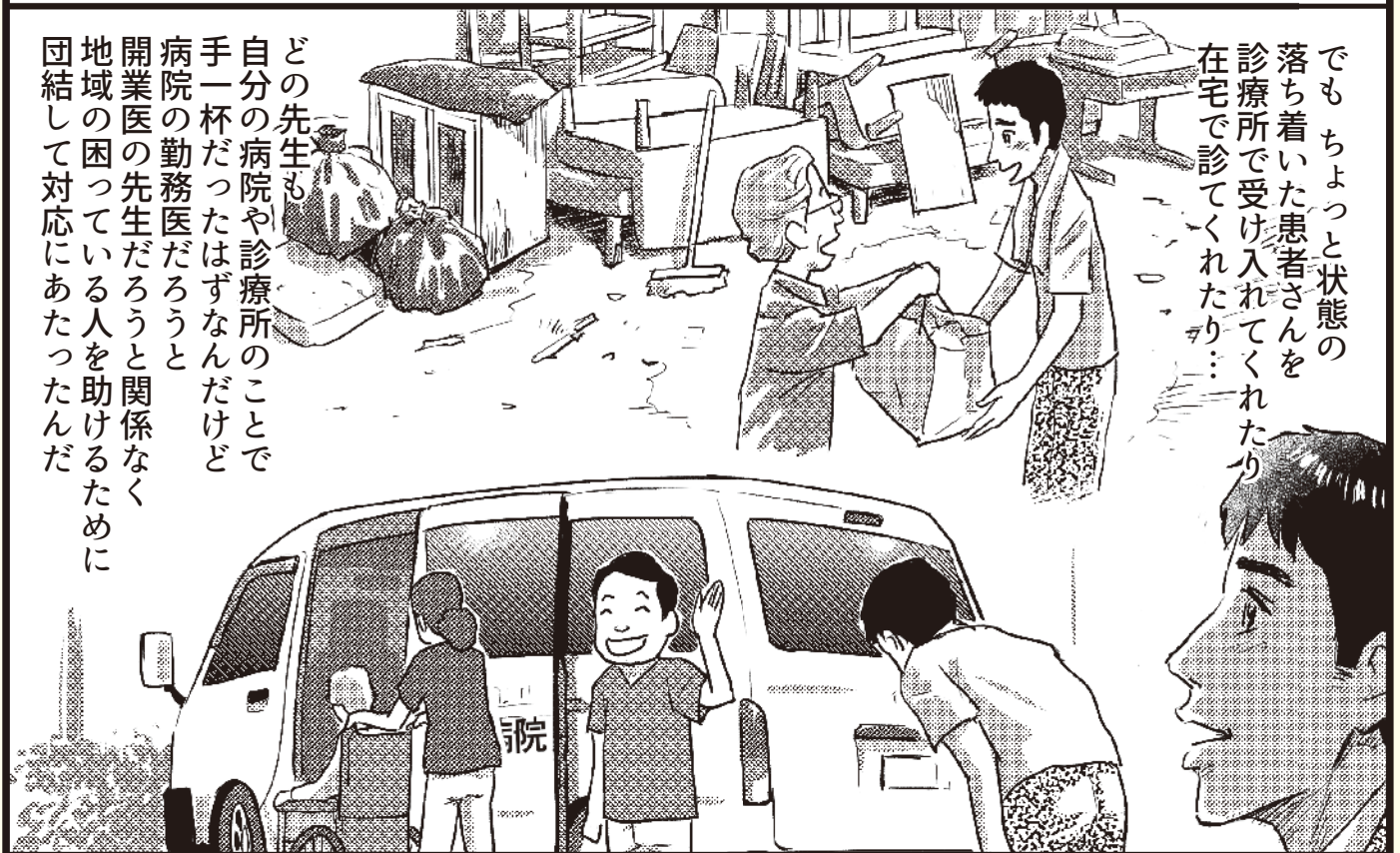


うん
うちの病院も浸水しちゃって
診療に影響も出てね



それにこの前の夏の豪雨
水谷君も覚えてるよね

大変でしたよね
孤立した地域も
ありましたし



でもちょっと状態の
落ち着いた患者さんを
診療所で受け入れてくれたり
在宅で診てくれたり…

どの先生も
自分の病院や診療所のことで
手一杯だったはずなんです
病院の勤務医だろうと
開業医の先生だろうと関係なく
地域の困っている人を助けるために
団結して対応にあたったんだ

scene 4

非常時にも
医療提供体制を守る

災害や新興感染症などで地域医療がひっ迫したときも、医療提供体制を守ります。

地域医療がひっ迫したら…

近年、日本では豪雨や地震など、各地で多くの災害が発生しています。また、大規模国際イベントなどが開催される場合には、急病人の増加や、テロ災害の発生といった状況を想定する必要があります。さらに、新興・再興感染症のパンデミックが起きる可能性もあります。

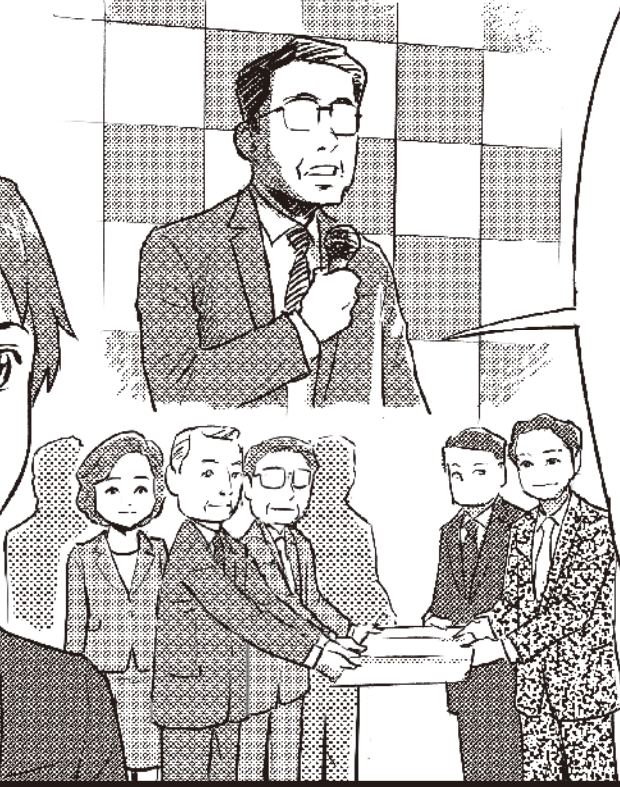
こうした突発的な非常事態があると、地域住民の健康が脅かされるだけでなく、地域医療に多大な負荷がかかってしまいます。地域の医療機関や自治体・国と連携しながら医療提供体制を守るために尽力することも、医師会の役割の一つです。

そういう経験から
医師会活動の大切さに気付いて
これまでは医師会の先生たちに
良くしてもらえばかりだったけど――

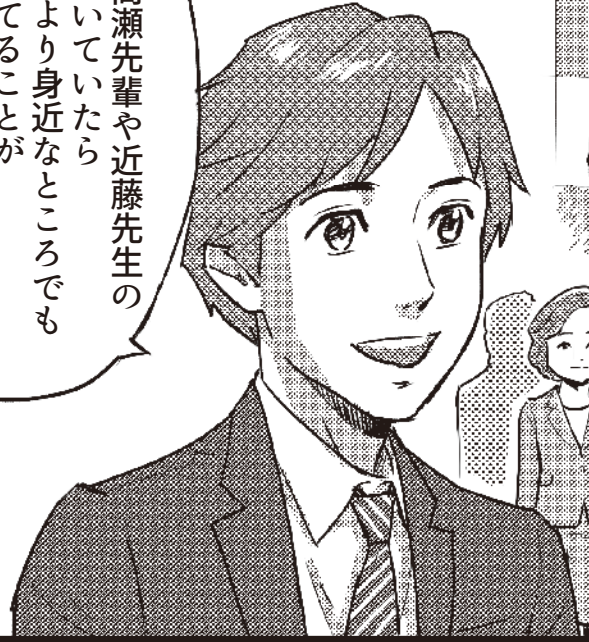


自分も何か積極的に
医師会員として活動したいと思って
若手医師委員会の活動に
力を入れているんだ

医師会って診療報酬のことを決めたり
国や政府に色々な働きかけを
したりするところだ
なんだか僕たちみたいな若い医師からは
遠い存在だと思ってました



でも高瀬先輩や近藤先生の
話を聞いていたら
思ったより身近なところでも
活動してることが
よくわかりました



医師同士の助け合いを リード

地域で災害が生じた場合、地
域の医師同士で助け合い、地域
医療への影響を最小限に抑える
ことが重要になります。

例えば中核病院が被害を受
けた場合は、地域の医師会員が
避難所での診療等の初期対応を
担う必要があるでしょう。また、
仮設住宅を訪問診療することで、
地域住民の健康を継続的に守る
ことも重要です。逆に地域の診
療所が被害を受けた場合、病院
の勤務医がフォローに回る必要
があります。

地域の中核病院も診療所も大
きく被害を受けた場合は、他地
域に応援を要請する必要がある
でしょう。日本医師会災害医療
チーム（JMAT）は、都道府県
医師会ごとに編成されるチーム
で、被災地の医師会からの要請
に基づいて派遣されます。

地域医師会が、普段から構築
しているネットワークを通じて
被害状況を確認・共有すること
で、適切にリソースを配分した
り、応援要請を行ったりするこ
とが可能となっています。

地域の医療者同士で協力しながら地道な活動をしていくのが本当に大事なんだよね

わかるなあ

そして私はそのチームワークの土台みたいなものが医師会なのかなって思った

チームワークの土台？

私たちも医師会の先生たちも所属している病院や専門分野出身大学もバラバラだよ

でも地域の医療体制を守ったり災害や感染症に対応するときはみんな協力し合う必要がある

医師会は医師のネットワーク

実は医師会は、政府などからの命令によってできた組織ではありません。地域の最前線で働く医師たちが、地域住民の健康を支えるため、自主的に集まって活動してきた組織なのです。予防接種や健康診断を引き受けるために医師会に入った医師が、活動するうちに役員になったという例もあります。「もっと医療を良くしたい」と感じた医師たちの集団が、今の医師会の土台となっています。このことから医師会は地域の中で、医師同士・医療機関同士の連携を支えるネットワークの役割を果たしているということがよくわかるのではないかと思います。

scene 5

地域の医師の思いを実現につなげる

医師同士のネットワークを利用し、地域や日本の医療をより良いものにします。

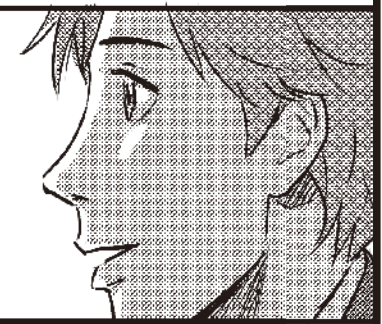
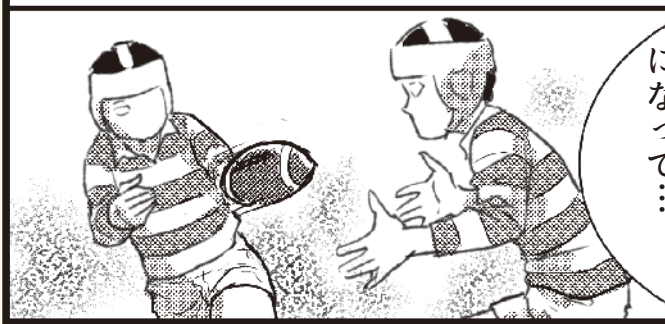
それに時には医療制度や
医療政策を変えていかなきゃ
実現できないことだってある

もし医師会がなかったら
地域の医師たちが
協力し合うための土台が
なくなっちゃうなって：

確かに
医師の団体があることで
地域の医療者が
地域の医療を守る活動に
専念できるんだよね



なんだか
チームスポーツと
同じなのかなって
いろいろな役割の
人が一つのチーム
になって：



うまいこと言うね！

医師ひとりでは
歯が立たない
大きな脅威にも
チームで闘えば
向かっていける

医師会って
医師一人ひとりの力を
結集するチームなんだよね



医師のプロフェッショナル・オートノミー

「この地域の医療をもっと良くしたい」という思いを実現するためには、例えば地域内で人的・物的リソースの配分を調整したり、国や自治体に働きかけ、制度面の制約を乗り越えたりといった活動をしていく必要があります。

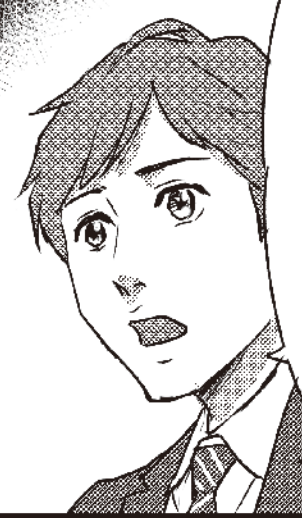
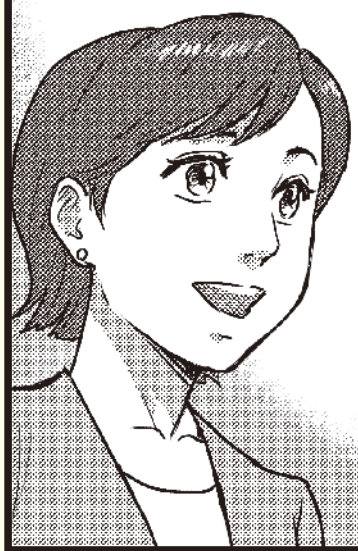
医師会は、そうした局面でリーダーシップを発揮する役割も担っています。先ほど述べたように、医師会は普段から、地域医療において様々な調整を行うネットワークとして機能しています。また、国や自治体とのパイプを持ち、医師の代表として様々な政策提言を行っています。医師会という団体があることで、地域で働く勤務医や開業医の意見をすくい上げ、制度に反映させることが可能になります。

専門職として、「患者さんに最良の医療とは何か」を考え、それを提供するための環境を整備する。これこそが、医師会が大切に行っている医師の「プロフェッショナル・オートノミー」の体現であると言えるでしょう。

でもチームで動くためには
チームメンバー一人ひとりを
支えることも大事じゃないかって
思うんですけど…

医師会って
医師一人ひとりを守って
くれるんですか…？

もちろん！
地域医療を支えるためには
地域医療を担う医師たちを
支えていくことが先決
だからね



例えば
医師として働いていると
医事紛争に巻き込まれる
リスクがあるよね

勤務先の病院にカバーして
もらおうと思っても
なかなか対応が難しいこともある

事故

クレーム

過失



そんなとき
医師会が
訴訟・示談などの交渉を
サポートしてくれたり
それにかかる費用を補償
してくれる保険制度が
あるんだ



scene 6

一人ひとりの医師を 守るためのサポート体制

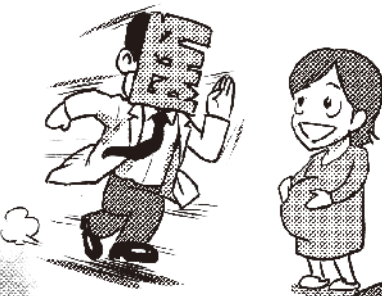
医師会は、医師が安心して働けるよう、様々なサポート体制を用意しています。

医師を支える様々な制度

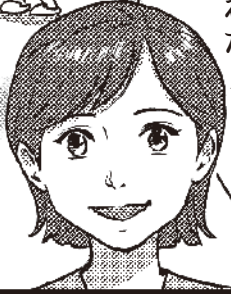
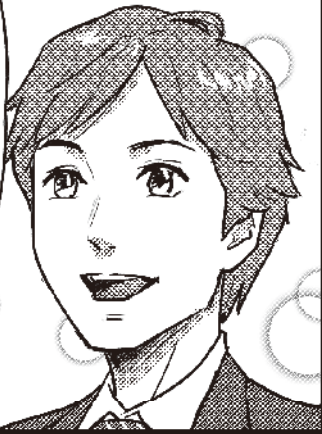
地域の実情にに応じて、医師が安心して医療を提供できる環境を整えることは医師会の大きな役割です。そのため、医師会に入会することで得られるサポートもたくさんあります。

代表的なものには、マンガにも登場する「日本医師会医師賠償責任保険制度（医賠償）」や、「日本医師会年金」などがあります。医賠償は、万が一医事紛争が起こってしまった際、紛争解決の全面的な支援を得ることができる制度です。日本医師会年金は、勤務先が変わっても継続でき、ライフスタイルに合わせた設計が可能で、老後を安心して迎えるための終身年金制度です。

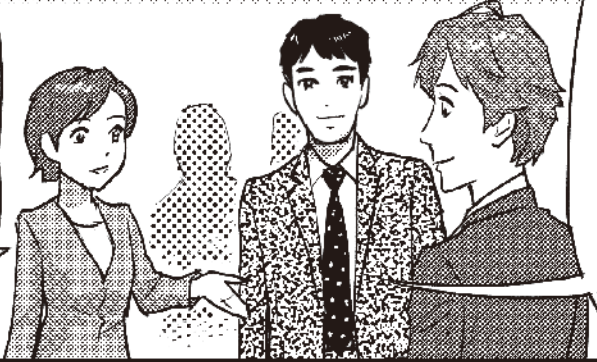
それに私たちが将来
出産や育児介護などで
働き方を変えたいとなった場合
医師会に相談したら
代替の医師を一時的に派遣
してくれたり
本格的に復帰する際に
サポートしてくれるたり
するんだよ



現場で働く僕たちのことを
考えてくれるんだ…



そうそうそれに
私たちのプロジェクトでは
医師たちがキャリアの中で
様々な困難に直面したときに
どんな支援ができるか
若手の視点からアイデアを
出そうとしているのよ!



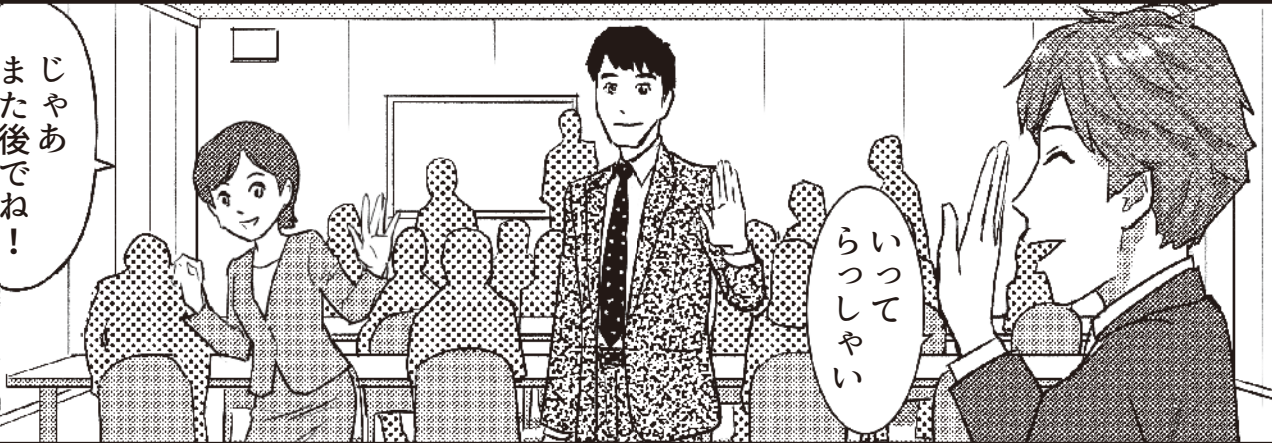
もし困ったら
地域の医師会に
相談しに来てほしいな

あっと
いけない
もうすぐ
説明会が
始まっちゃう



いつて
らっしゃい

じゃあ
また後でね!

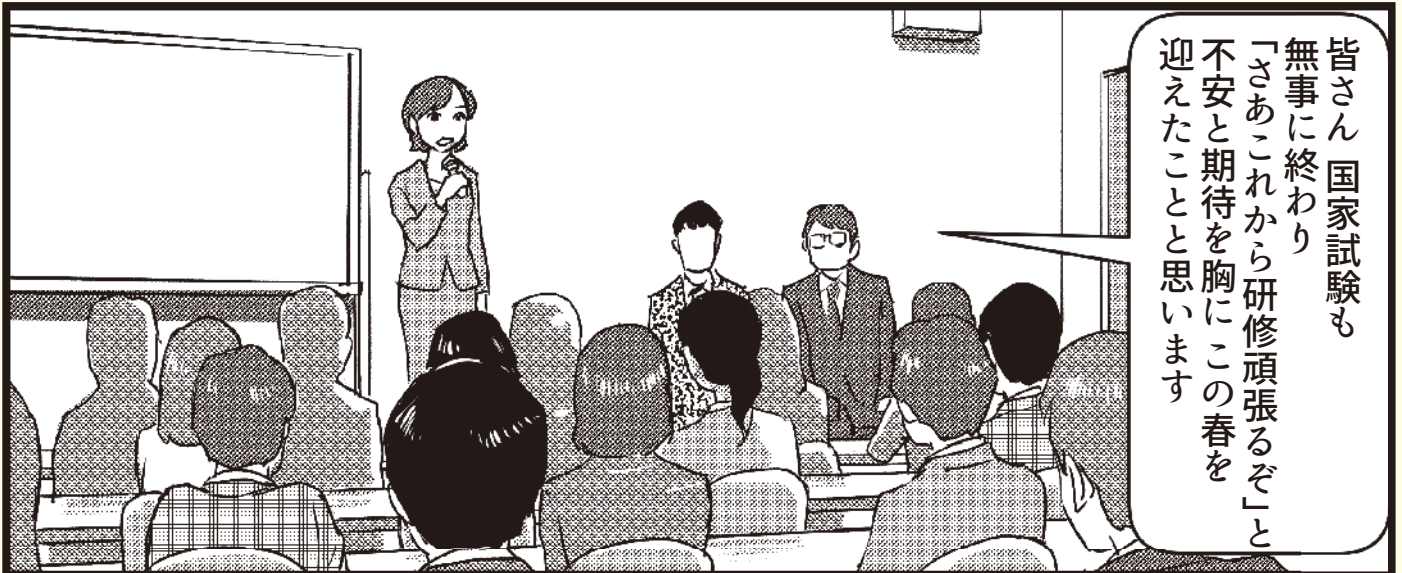


多様な働き方に応える

医師会では、多様な働き方を
支援するための事業も行ってい
ます。「女性医師支援センター」
では、「医学生・研修医等をサポ
ートするための会」を始めとす
る各種講習会・研修会を通じて、
先輩医師の体験談などを聴く機
会やワーク・ライフ・バランス
を考える場を提供するとともに、
勤務環境の整備などに関する普
及・啓発活動を行っています。

また、「日本医師会女性医師バ
ンク」では、様々なライフステー
ジに応じて無理なく就業を継続
できるよう、一人ひとりの就業希
望条件にあった就業先の紹介を
無料で行っています。

これらの施策には「女性医師」
と名前がついていることが多いの
ですが、男女問わず利用できます。
研修医の皆さんも、今後働き
方の転換を迫られたり、様々な
悩みや困難に直面したりするこ
とがあるかもしれません。その
ようなときには、医師会に相談
してみることも、ぜひ選択肢の一
つとして考えてみてください。

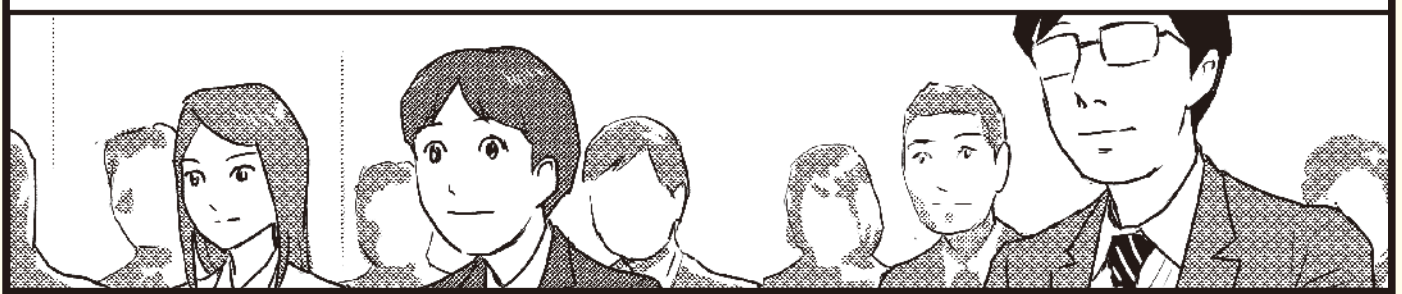


皆さん 国家試験も
無事に終わり
「さあこれから研修頑張るぞ」と
不安と期待を胸にこの春を
迎えたことと思います



私も4年前
この説明会に参加しました
会費もかからないし
周りの友人も「とりあえず
入っておこうかな」という雰囲気
だったので私も流れで
なんとなく入会しました

その時は医師会の
活動の重要さについては
何もわかっていなかった
と思います



scene 7
**若手医師の
活躍の場も多数**

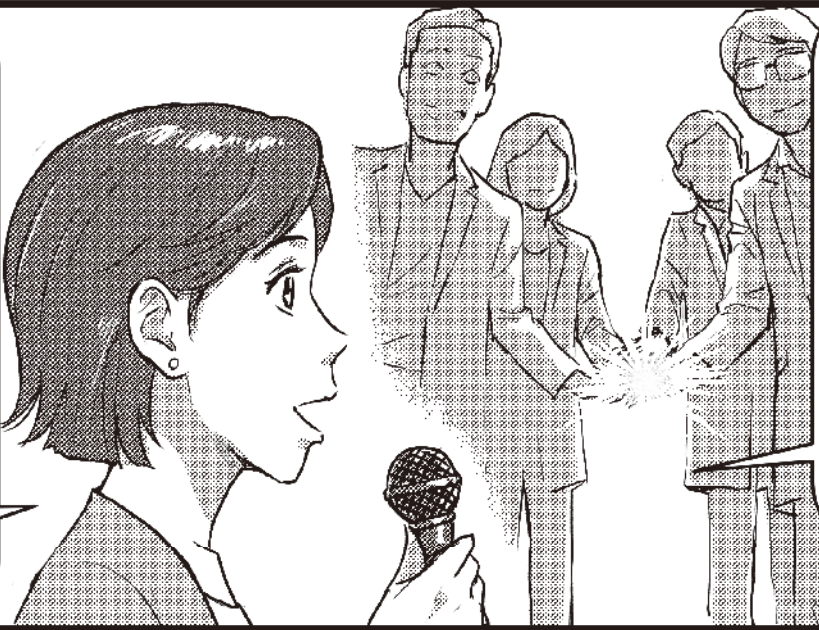
医師会は、若手医師が活躍できるように、
積極的に取り組んでいます。

**若手医師（医学部卒業後
5年間）の会費は
無料または大幅減額**

日本医師会は、若手医師が
金銭的な負担なく入会できるよ
う努めています。2023年度
より、医学部卒業後の5年間は、
全ての会員区分で会費を減免し
て、年会費は無料または大幅に
減額しています。また、郡市区
等医師会・都道府県医師会に対
し、会費負担の減免を働きかけ
ており、各地の医師会がそれに
応じています。

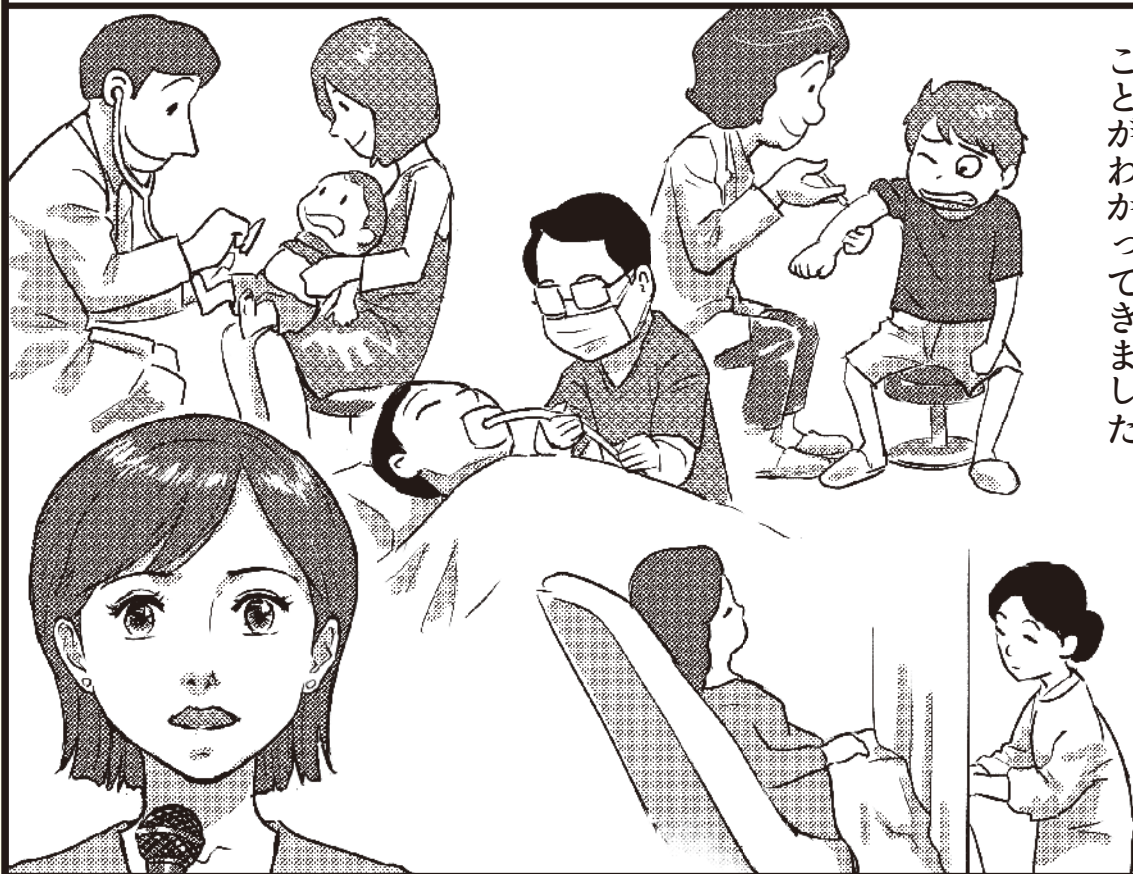
この背景には、広く門戸を開
くことで、より多くの研修医や
若手の勤務医に、医師会活動に
積極的に参加してほしいという
思いがあります。

転機は臨床研修を終えて
小児科に入局し
昨年大学に戻ったときです



教授から
「県医師会に若手医師プロジェクトが
できるから参加してみないか」
というお話を頂き
せっかくの機会と思って
この一年活動に参加してきました

実際に医師会活動に
関わってみると
一市民としての自分や家族も
医師としての自分も様々な形で
医師会活動の恩恵を受けている
ことがわかってきました



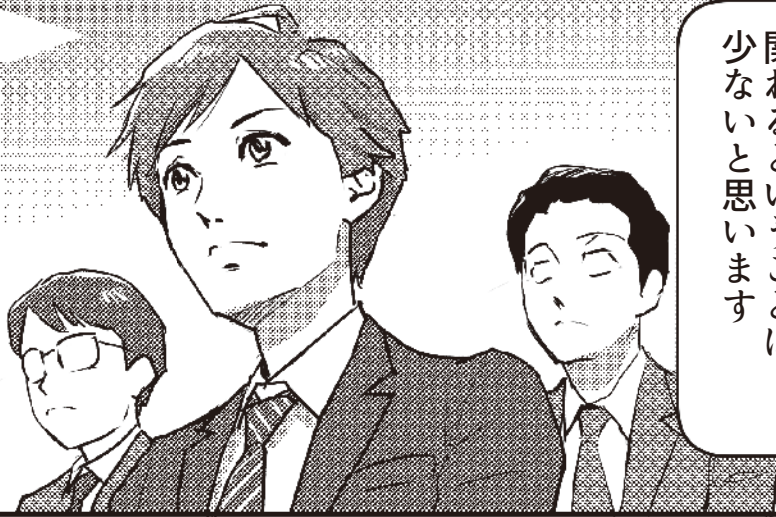
若手医師の活躍の場

近年、医師会では、若手医師が主体的に医師会活動を行う仕組み作りや、若手医師を支援する活動を行っています。日本医師会ジュニアドクターズネットワーク（JMA・JDN）はその一つです。学会や医局、地域の枠を超え、若手医師が公衆衛生や保険医療政策などについて学び、行動するプラットフォームとなっています。

都道府県医師会による取り組みも盛んです。例えば北海道医師会は、「北海道の地域医療を考える若手医師ワーキンググループ」や「勤務医部会若手医師専門委員会」を設置し、若手医師の意見を医療政策や地域医療の推進等に反映する仕組みを作っています。京都府医師会では、ベテランの先輩医師たちが研修医・若手医師に寄り添い、次世代の良医を養成する取り組みを展開しています。臨床研修医たちが、シミュレーションやグループワークなどによりスキルアップを図りつつ、地域や病院の枠を超えた横のつながりを作ることが可能になっています。

皆さんはすぐにこれらの医師会の活動に関わるといふことは少ないと思います

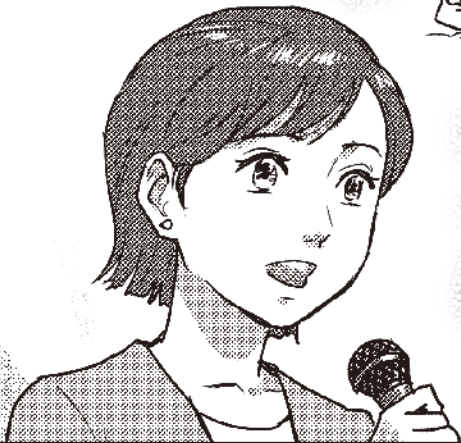
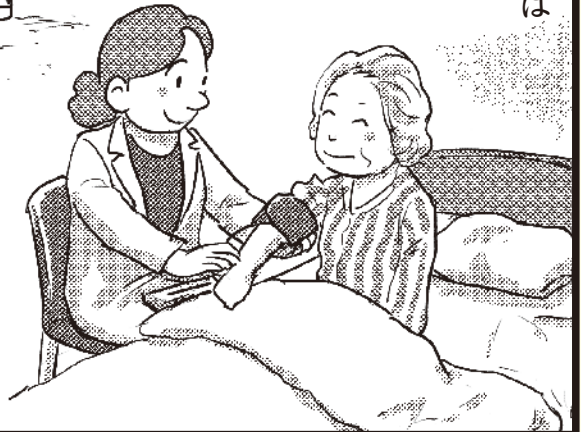
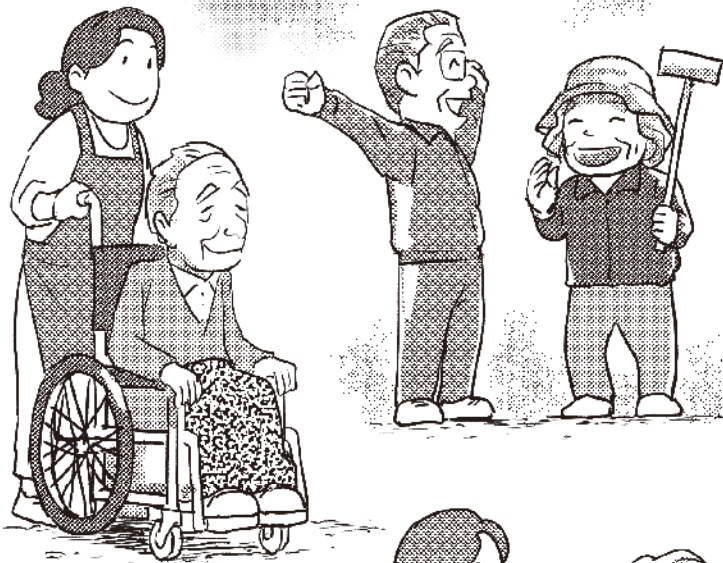
まずは技術や知識を磨いて目の前の患者さんに一生懸命向き合うことが私たち若手医師の務めです



けれど私たちが関わっているのは患者さんが病院に来ているほんの一瞬です

患者さんの普段の生活や健康を支えるために地域では様々な医療者たちが関わっています

私はこのプロジェクトに関わるようになって初めてそうしたことができた気が付くことができました



scene 8

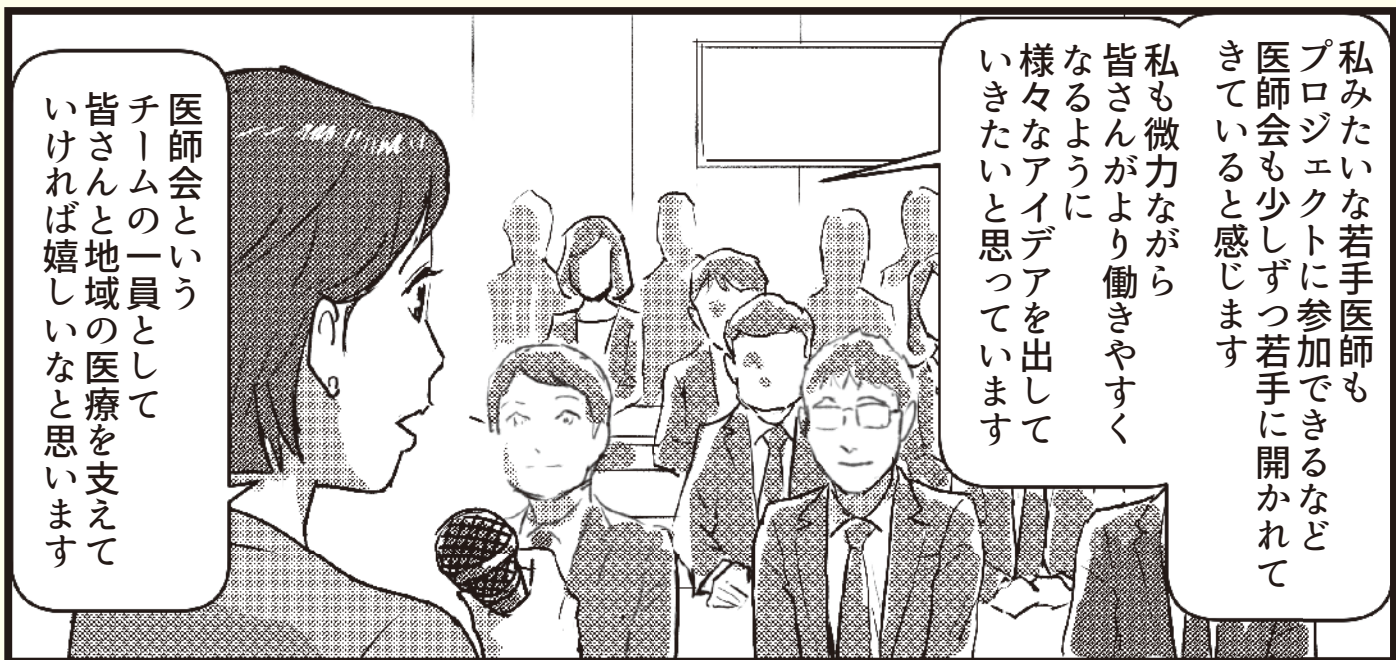
日本の医療の未来を一緒に考えよう

目の前の患者さんのため、そして日本の医療の未来のために、医師会で共に活動しませんか？

国の医療政策に関わる

今後さらに少子高齢化が進めば、医療へのニーズもますます高まっていくと予想されます。そのなかで、国民の健康を守り、かつ医師自身が安心して働ける環境を整えるためには、医師という専門職の立場から、ときには国の政策に働きかける必要が出てくるでしょう。

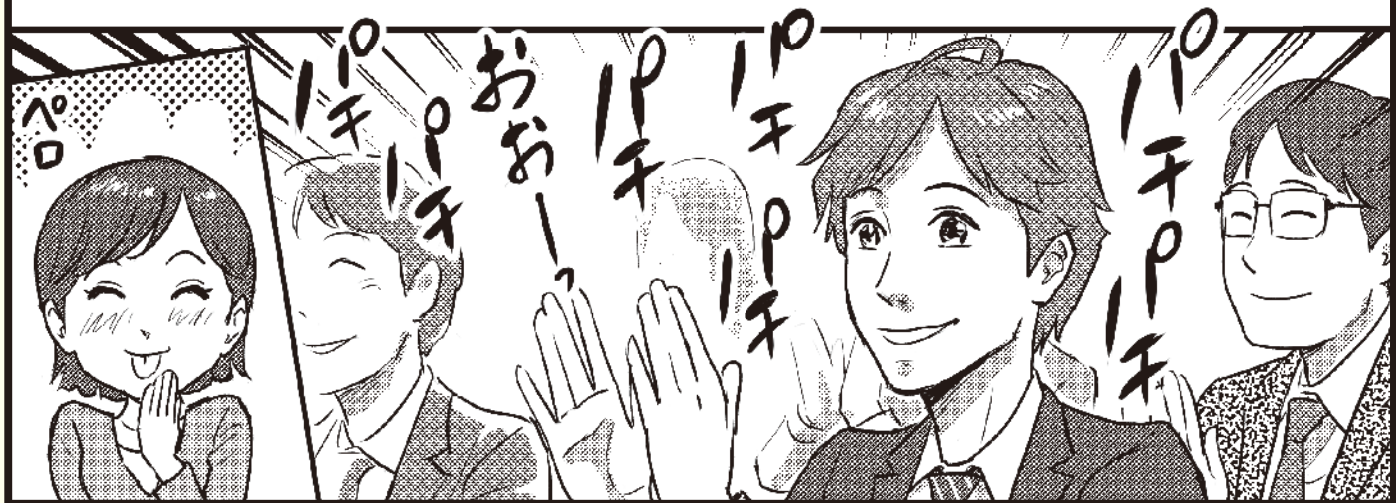
医師会は、医師を代表する唯一の職能団体として、国の政策に対する提言なども行っています。医師会には様々な委員会があり、それぞれの分野で活動する医師が、研究者・勤務医・開業医の区別を問わず参加して議論することで、医師会としての意見をまとめているのです。



私みたいな若手医師も
プロジェクトに参加できるなど
医師会も少しずつ若手に開かれて
きていると感じます

私も微力ながら
皆さんがより働きやすく
なるように
様々なアイデアを出して
いきたいと思っています

医師会という
チームの一員として
皆さんと地域の医療を支えて
いければ嬉しいなと思います



だから、医師会に入ろう

研修医のみなさんには、まず「目の前の患者さんにとってより良い医療とは何か」を常に考え、最良の答えを模索し続ける医師になってほしいと思います。

しかし、患者さんの健康は、地域保健や社会保障制度といった、社会の様々な仕組みと密接に結びついています。患者さんと向き合うなかで、自分一人の力ではどうにもならない壁にぶつかるともありません。そのとき、「こういう制度があればいいのでは」「こういった活動を地域で広めていきたい」など、広い視野で考えられる医師になってほしいと思います。

医師会は、国に政策等を提言することから、それぞれの地域のニーズに合わせた医療を提供することまで、実に幅広い取り組みを行っています。医師会活動に関わるということは、人々の健康を支えている社会の構造を意識し、学んでいく機会を得るということでもあります。みなさんぜひ、医師会活動に参加して、日本の医療の未来について考えてみませんか？

安心できる老後のために

日本医師会年金

日本医師会年金は日本医師会が会員福祉の一環として昭和43年に発足させた、積立型の私的年金制度です。公的年金に上乘せる形で積み立てることができ、勤務先が変わっても継続できます。金利設定が比較的高いことも魅力のひとつです。

日本医師会会員の
ための私的年金

一生涯受け取れる
年金

保険料の増減は
自由

年金の受給開始を
75歳まで延長可能



生活

研究・進学などで 常勤ポストを離れたら

医師国民健康保険

医師とその家族・従業員のための健康保険で、保険料が比較的低く設定されています。

非常勤も
加入可

保険料が
比較的
安い

4つの安心

ている様々なサポート

生活・学習・女性医師の
してのあなたを支えます。

どこにいても

大学図書館並みのサービスを

日本医師会医学図書館

約110,000冊の蔵書、
約1,000タイトルの雑誌
を利用できます。

蔵書数は
大学図書館
並み

インター
ネットで
申込

複写を
全国各地に
発送可能

学習

分野を問わず、最新の医学・医療を学び続けるために

日本医師会生涯教育制度

国民の生命と健康に深く関わる医師が、継続的な自己学習・研修を効果的に行えるように作られた制度です。勤務医や若手医師が専門分野以外の情報や知識に触れる機会としても活用していただけます。e-ラーニングや講習会など様々な形式で、学習機会が提供されています。

要件を満たす
ことで認定証発行

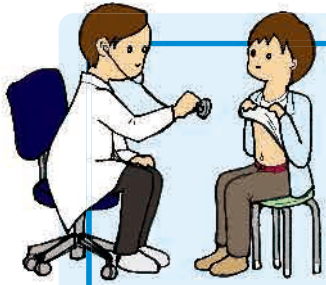
最新の情報に
触れられる

専門医の共通
講習も開催

e-ラーニング
受講可能

各地域で講習会を
恒常的に開催





もしも医事紛争が起きてしまったら？

日本医師会医師賠償責任保険

近年では勤務医個人に対する訴訟も増えています。日本医師会医師賠償責任保険では、医療の専門家から構成される中立的な調査・審査機関が、賠償の有無や額を判断します。また、医師ができるだけ矢面に立つことなく紛争を解決できるよう、訴訟・示談などの交渉を支援する仕組みも整っています。

専門の調査・
審査機関がある

訴訟や
示談などを支援

勤務先を問わず
補償(日本国内)

退職・退会後も
サポート

診療

医師だと証明することが 必要なとき

日本医師会電子認証センター

医師資格証を活用することで、ネットワーク上で間違いなく医師本人だと証明することや、医師が作成する公的文書などに医師資格入りの電子署名を付与することができます。

ICカードの
医師資格証
発行

産業医として 働くためには？

日本医師会認定産業医制度

従業員50人以上の事業場には、産業医を置くことが法律で定められています。その産業医になるための研修および認定を受けることができます。

厚労省が
定める研修

勤務先の
選択肢が
増える

会員を支える

日本医師会が用意し

日本医師会は、診療・
4つの側面から医師と

女性医師

女性医師が、仕事と育児・家庭を両立するために

日本医師会女性医師支援センター／日本医師会女性医師バンク

医学部卒業生の3割以上が女性である現在、女性医師が出産・育児と仕事を両立できる環境づくりは医療界全体の課題であり、男性医師にとっても重要な問題です。日本医師会は、女性医師の働きやすい環境作りに積極的に取り組んでいます。

女性医師
支援
センター

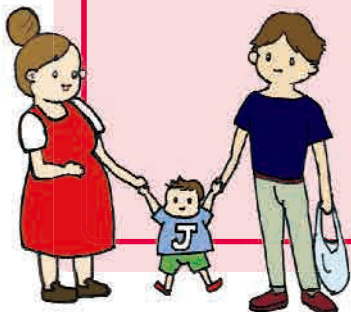
医学生や
研修医への支援

勤務環境の整備に
関する啓発活動

女性医師
バンク

コーディネーターが
実情に合わせた職場を紹介

復職・再研修の
サポート





TOPIC

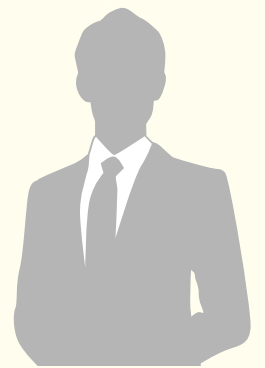


医事紛争から 医師を守る

医療事故が起こってしまったとき、患者さんが治療の結果に納得しなかったときなど、もし訴訟を起こされてしまったら、医師には大きな負担がかかります。医師会には、そうした「もしものとき」のためのサポート体制があります。

体験談

**医師が安心できる
様々な支援体制が
充実しています**



A医師(外科医・大学院生)

私は専門医資格を取得後、腰を据えて基礎研究に取り組みたいと思い、出身の医局を離れて別の大学の大学院に入学しました。それと同時に、出身医局の紹介などを通じて、市中病院で外来や当直の外勤を行うようになりました。

これまでは何かあっても医局に守ってもらえるという感覚がありました。しかし、常勤ポストのない大学院生の身分で、複数の医療機関で外勤をするとなると、やはり不安があり、医師賠償責任保険（医賠償）への加入を考えるようになりました。

保険には様々な種類があり、どれに入るか迷いましたが、周囲の人から日本医師会の医賠償を勧められました。出身医局を

離れても、何かしら医師の集まりに参加したいという気持ちもあり、医師会に入会して医賠償を利用することにしました。

日本医師会の医賠償は、勤務先が変わったり複数の医療機関で勤務したりする場合でも補償されます。保険料も民間保険に比べて割安です。また、訴訟・示談などの交渉のための弁護士の手配を医師に代わって行ってくれ、弁護士費用や訴訟・示談にかかる費用も負担してもらえます。

もしものときも安心して利用できる仕組みが整っていることで、日々の診療や研究に打ち込むことができています。

× リ ッ ト

01



賠償責任の有無や賠償額を 専門の機関が判断

日本医師会医師賠償責任保険には、医師・医療に詳しい弁護士・保険者などで構成される、中立的な調査・審査機関があります。賠償責任の有無や賠償額について、専門家による調査・審査が行われることは、医師の安心につながります。

× リ ッ ト

02



訴訟や示談を全面的にサポート

民間の医賠償では自ら弁護士の手配を行う必要がありますが、日本医師会の医賠償は、弁護士の手配から訴訟・示談にかかる費用負担まで、当事者に代わって行います。訴訟の際、医師側の主張を補完するために専門医による意見書が必要になったときも、医師会のネットワークでサポートします。

× リ ッ ト

03



医師会員なら誰でも加入でき 勤務先にかかわらず補償

日本医師会に入会すれば被保険者になれる仕組みで、保険料は会費に含まれています。30歳以下の勤務医や研修医については、保険料の一部を日本医師会が負担します。日本国内であれば、勤務先が変わったり、複数の医療機関で診療していても補償されます。

※ A②会員(B)(勤務医)、A②会員(C)(研修医)は自動的に医賠償保険の対象となります。



TOPIC



育児・介護と仕事の 両立を支援する

育児や介護をしながらでも働き続けられる仕組みや、
一旦仕事を離れてもスムーズに復帰できる仕組みがあったら安心ですね。
医師会は、育児・介護と仕事の両立支援や、就業支援を行っています。

体験談

**一旦仕事を離れた
私でも、安心して
復職できました**



B 医師（皮膚科医）

私は研修医の時に医学部時代の同級生と結婚し、専攻医の時に子どもを授かりました。もともと子どもができて働き続けるつもりで、職場の上司も理解してくださっていたのですが、出産後、子どもに先天性の疾患が見つかりました。それからは子ども中心の生活を送ることにし、数年間は仕事から完全に離れていました。

子どもの体調が落ち着いてきた頃、復職を考え始めたのですが、何のつてもなかったため途方に暮れてしまいました。そんな時、夫が女性医師バンクのパンフレットを持ち帰ってきたのです。医師会が運営している制度のため安心感があり、とりあえず電話をかけてみたら、コー

ディネーターの方が親身に相談に乗ってくださいました。

紹介していただいたのは、週1日の勤務から可能で、技術的な面もサポートしてくださる職場です。ブランクがある私でも、安心して働くことができました。現在は、勤務日数を週3日に増やしています。忙しいときや困ったときには県医師会の保育サポート制度も利用できるのですが、子育てと仕事を無理なく両立できていると感じます。

復職を決意した時は不安も大きかったのですが、今こうして様々な支援を得ながら働くことができている、相談して良かったなと思っています。

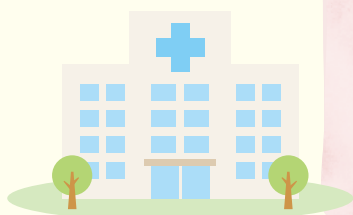
× リ ッ ト

01

「女性医師バンク」が 女性医師の就業を支援



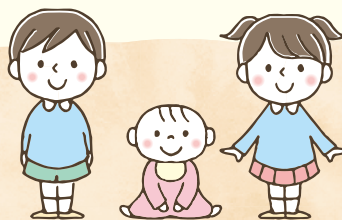
女性医師のライフスタイルに合った就業先や再研修先を紹介する「日本医師会女性医師バンク」は、非医師会員も無料で利用できます。専任コーディネーターが地域や医療現場の実情を把握し、きめ細やかなサポートに努めています。



× リ ッ ト

02

保育料の割引や 保育サポーター制度も



都道府県医師会も育児支援に力をいれています。例えば、医師会員なら託児所の保育料が割引になる制度や、預かり保育や保育園の送迎などを依頼できる「保育サポーターバンク」など、各地の医師会が様々な制度を用意しています。

× リ ッ ト

03

研修医・若手医師のキャリアをサポート

各都道府県医師会では、ライフイベントとキャリアの両立について、先輩医師に話を聴ける機会を定期的に設けています。具体的な内容については各都道府県医師会のWEBページ等に掲載されているので、ぜひ調べてみてください。





TOPIC



様々な環境で働く医師の 学びの機会を作る

大学病院を離れ、地域の中小病院に赴任することになったとき、
キャリアアップしたり、働き方を変えたりするために学びたくなったとき。
医師会は、様々な環境で働く医師のために、生涯学習の機会を提供しています。

体験談

地域医療に携わる
傍ら、無理なく
学び続けられます



C 医師 (内科医)

私は大学の医局に所属し、現在はへき地の診療所に内科医として勤務しています。もともと地域医療やプライマリ・ケアに携わりたいと思っていたこともあり、毎日やりがいを持って働くことができています。ただ、

制度が充実しており、驚きました。毎月発行される日本医師会雑誌からも、最新の医療の動向を知ることができます。私のようにへき地で働く医師も、無理なく学習を続けることができると感じます。

大学病院や市中病院で働いていた頃と違い、一人であらゆる患者さんを診療しなければなりません。上司や先輩、学び合える同僚がいらないなかで、診療能力を高めていくにはどうしたらいいかと悩み、地域の先生方とのつながりを求めて、医師会に入会しました。

また、地域の人たちと密接に関わるなかで、地域の人の健康増進のために、もつとできることはないかと考えるようになりました。この地域は車社会で、運動不足の人も多いことに着目し、日本医師会認定健康スポーツ医の資格を取ることになりました。これからも医師会の制度を使って、医師としてのスキルを磨いていきたいと思っています。

入会してみると、地域医師会で開催される勉強会や、日本医師会が提供するe-ラーニングなど、医師の生涯学習のための

01

× リ ッ ト

最新の医学・医療が学べる 日本医師会生涯教育制度



日本医師会には、新しい知識や技術を体系的に学習することのできる生涯教育制度があります。e-ラーニングや講習会への参加などで所定の単位とカリキュラムコードを取得すると、「日医生涯教育認定証」を得ることができます。

02

× リ ッ ト

日本医師会医学図書館が 利用できる



勤務地や勤務時間によっては、卒業した大学や地域の大学図書館に出かけることが難しくなります。日本医師会医学図書館では、インターネット等で申し込みを行えば、必要な文献のコピーを郵送してもらうことができます。他にも書籍の貸出やリスト作成などのサービスがあります。



03

× リ ッ ト

健康スポーツ医や産業医の認定も受けられる



日本医師会では、地域保健のなかでスポーツ指導や運動指導を行う健康スポーツ医や、労働者の健康を支える産業医の養成・認定を行っています。これらの資格は、キャリアアップや働き方の選択肢を増やすことにつながります。

見る医師会 活動内容で データと

日本医師会 会員数

研修医(A②会員(C)+C会員)

4%

勤務医
(A②会員(B)+
B会員)

48%

開業医等(A①会員)

48%

会員数の内訳

総会員数 | 173,761人

(令和4年12月1日現在)

A①: 病院・診療所の開設者、管理者およびそれに準ずる会員、A②(B): A①会員およびA②会員(C)以外の会員、A②(C): 医師法に基づく研修医
B: A②会員(B)のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員、C: A②会員(C)のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員

日本医師会の様々な活動

災害医療チーム“JMAT”の派遣

災害医療チーム"JMAT"を創設し、東日本大震災・平成28年熊本地震などでは、全国の医師、医療従事者の方々の協力により、多数のチームを被災地に派遣しています。



世界の医療水準の向上

世界医師会(WMA)、アジア大洋州医師会連合(CMAAO)に加盟し、ネパールの医療協力に参加するなど、世界の医療水準の向上を図っています。



「医療機関勤務環境評価センター」事業

令和4年(2022年)4月に厚生労働省から指定されました。

年間の時間外・休日労働が960時間を超える医師が在籍する医療機関における労務管理体制や労働時間短縮の取組の評価、各種支援を行います。

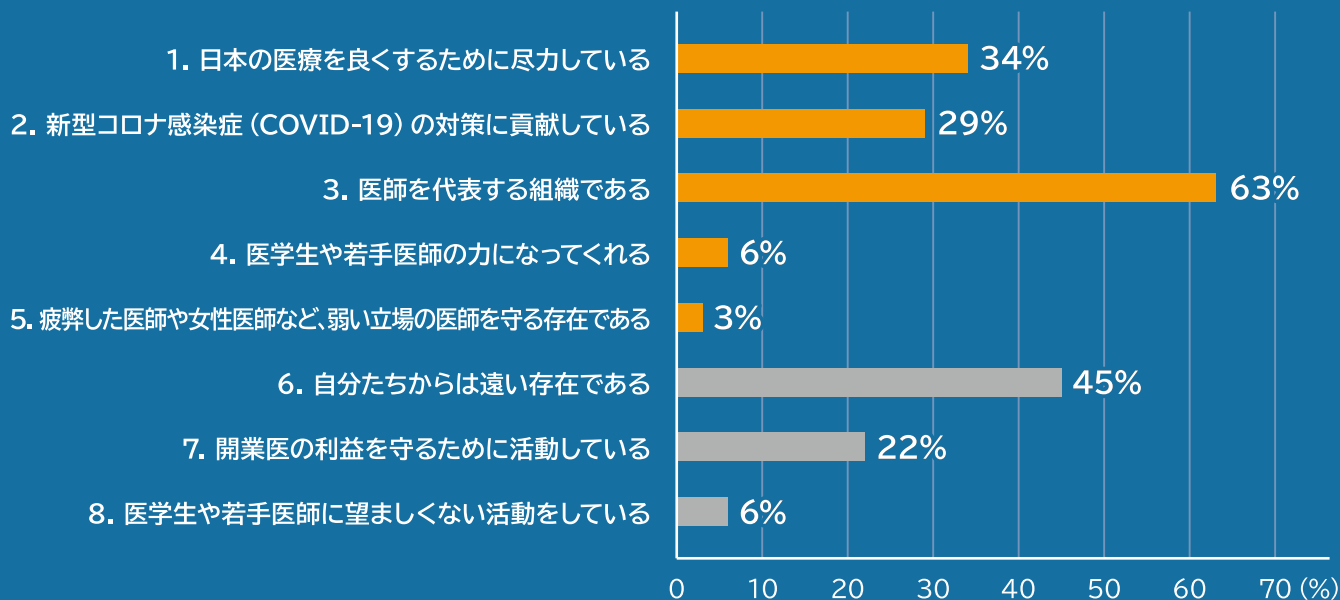


「日本医学会総会」の後援

医師の生涯学習の場として最大の「日本医学会総会」の後援や各種セッションの開催に協力しています。



医学生に訊いてみた日本医師会のイメージ



調査概要：一般社団法人MyFFが実施した、医学生を対象とする調査 調査実施時期：2020年11月 回答者数：383人

日本医師会の刊行物



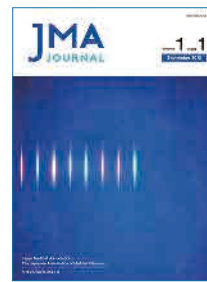
日本医師会雑誌

月1回発行され、会員に配付される機関誌。年に2回特別号も発行しています。



日医ニュース

月2回発行され、会員に配付される医政の分野を扱うニュースレターです。



JMAジャーナル

日本医師会と日本医学会で発行するオンライン・オープンアクセスの英文医学総合雑誌です。

入会のご案内

医師会に入会するには？

医学部卒後5年間の年会費がお得に！

2023年度より、医学部卒業後の5年間は会費を減免して、全ての会員区分において年会費を無料または大幅に減額しています。

また、医師資格を証明できる ICカード「医師資格証」につきましても、会員には無料で発行しています。さらに、多くの都道府県医師会・郡市区等医師会におきましても、年会費の減免等が講じられています。詳しくはそれぞれお問い合わせください。

医師会入会のフロー

医師会は、国・都道府県・市町村（広域）の3層で役割分担をしています。

すなわち、住民に最も近い市や郡のレベルで活動する「郡市区等医師会」と、それらの活動を取りまとめ、都道府県レベルで活動する「都道府県医師会」、そして国の制度やルールへの働きかけを中心に活動する「日本医師会」の3層に分かれています。

これらはそれぞれ独立した組織で、縦のネットワークでつながっています。

（大学医師会も郡市区等医師会の一種であり、大学等で医療に従事する医師は、大学医師会に入会する場合があります。）

入会手続きは、所属医療機関のある郡市区等医師会を通じて行いますので、直接お問い合わせください。

また、窓口となる郡市区等医師会が不明な場合は、以下のステップのとおり、まずは所属医療機関のある都道府県医師会にお問い合わせください。

- （1）所属医療機関のある都道府県医師会に、「日本医師会に入会したい」と問い合わせる。
- （2）都道府県医師会から、窓口となる郡市区等医師会（あるいは大学医師会）を紹介してもらう。
- （3）（2）で紹介してもらった窓口へ、郡市区等医師会・都道府県医師会・日本医師会への入会申込書を提出する。



都道府県医師会連絡先一覧

連絡先		
北海道医師会	電話	011-231-1432
	FAX	011-221-5070
青森県医師会	電話	017-723-1911
	FAX	017-773-3273
岩手県医師会	電話	019-651-1455
	FAX	019-654-3589
宮城県医師会	電話	022-227-1591
	FAX	022-266-1480
秋田県医師会	電話	018-833-7401
	FAX	018-832-1356
山形県医師会	電話	023-666-5200
	FAX	023-647-7757
福島県医師会	電話	024-522-5191
	FAX	024-521-3156
茨城県医師会	電話	029-241-8446
	FAX	029-243-5071
栃木県医師会	電話	028-622-2655
	FAX	028-624-5988
群馬県医師会	電話	027-231-5311
	FAX	027-231-7667
埼玉県医師会	電話	048-824-2611
	FAX	048-822-8515
千葉県医師会	電話	043-242-4271
	FAX	043-246-3142
東京都医師会	電話	03-3294-8821
	FAX	03-3292-7097
神奈川県医師会	電話	045-241-7000
	FAX	045-241-1464
新潟県医師会	電話	025-223-6381
	FAX	025-224-6103
富山県医師会	電話	076-429-4466
	FAX	076-429-6788
石川県医師会	電話	076-239-3800
	FAX	076-239-3810
福井県医師会	電話	0776-24-0387
	FAX	0776-21-6641
山梨県医師会	電話	055-226-1611
	FAX	055-226-1614
長野県医師会	電話	026-219-3600
	FAX	026-235-6120
岐阜県医師会	電話	058-274-1111
	FAX	058-271-1651
静岡県医師会	電話	054-246-6151
	FAX	054-245-1396
愛知県医師会	電話	052-241-4136
	FAX	052-241-4130
三重県医師会	電話	059-228-3822
	FAX	059-225-7801

連絡先		
滋賀県医師会	電話	077-514-8711
	FAX	077-552-9933
京都府医師会	電話	075-354-6101
	FAX	075-354-6074
大阪府医師会	電話	06-6763-7000
	FAX	06-6764-0267
兵庫県医師会	電話	078-231-4114
	FAX	078-231-8111
奈良県医師会	電話	0744-22-8502
	FAX	0744-23-7796
和歌山県医師会	電話	073-424-5101
	FAX	073-436-0530
鳥取県医師会	電話	0857-27-5566
	FAX	0857-29-1578
島根県医師会	電話	0852-21-3454
	FAX	0852-26-5509
岡山県医師会	電話	086-250-5111
	FAX	086-251-6622
広島県医師会	電話	082-568-1511
	FAX	082-568-2112
山口県医師会	電話	083-922-2510
	FAX	083-922-2527
徳島県医師会	電話	088-622-0264
	FAX	088-623-5679
香川県医師会	電話	087-823-0155
	FAX	087-823-0266
愛媛県医師会	電話	089-943-7582
	FAX	089-933-1465
高知県医師会	電話	088-824-8366
	FAX	088-824-5705
福岡県医師会	電話	092-431-4564
	FAX	092-411-6858
佐賀県医師会	電話	0952-37-1414
	FAX	0952-37-1434
長崎県医師会	電話	095-844-1111
	FAX	095-844-1110
熊本県医師会	電話	096-354-3838
	FAX	096-322-6429
大分県医師会	電話	097-532-9121
	FAX	097-537-4764
宮崎県医師会	電話	0985-22-5118
	FAX	0985-27-6550
鹿児島県医師会	電話	099-254-8121
	FAX	099-254-8129
沖縄県医師会	電話	098-888-0087
	FAX	098-888-0089

(令和4年9月1日現在)

日本医師会

【にほんいしかい】

日本で唯一医師を代表する職能団体。1916年に北里柴三郎博士らによって設立され、1947年には社団法人として、また、2013年には公益社団法人として認定された。47の都道府県医師会の会員から構成されているが、それぞれの医師会は独立した法人組織である。会員の構成は開業医と勤務医が約半数ずつを占める。日本医師会の行う事業は、医道の高揚、医学教育の向上、医学と関連科学との総合進歩、生涯教育などを含む幅広いものである。

日本医師会綱領

日本医師会は、医師としての高い倫理観と使命感を礎に、人間の尊厳が大切にされる社会の実現を目指します。

1. 日本医師会は、国民の生涯にわたる健康で文化的な明るい生活を支えます。
2. 日本医師会は、国民とともに、安全・安心な医療提供体制を築きます。
3. 日本医師会は、医学・医療の発展と質の向上に寄与します。
4. 日本医師会は、国民の連帯と支え合いに基づく国民皆保険制度を守ります。

以上、誠実に実行することを約束します。